

# 9月定例会の概要

9月9日～9月26日までの18日間

## 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
  - 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会……(9/16)
  - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会……(9/17)
  - 防災・国土強靱化対策特別委員会……(9/18)
- 特別委員会の設置
  - 決算特別委員会を設置し、委員を選任……(9/26)

## 一般質問議員 15人

9月16日(火)	9月17日(水)	9月18日(木)	9月19日(金)
服部 一	上田 良治	中村 裕一	岸本 健
浦口 高典	藤本真利子	片桐 章浩	角田 秀樹
高田 由一	奥村 規子	松坂 英樹	濱口 太史
鈴木 太雄	中本 浩精		浅井修一郎

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成26年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件( // )	6件	和歌山県認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件( // )	2件	平成25年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件( // )	1件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件( // )	8件	平成26年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
諮問( // )	1件	退職手当の支給制限に対する審査請求に関する諮問について	知事の裁決書(案)は適当と認める
請願	1件	「国会に憲法改正の早期実現を求める意見書」提出を求める請願	採択
意見書	9件	国会に憲法改正の早期実現を求める意見書	可決
		国土の強靱化と地方創生に資する社会資本整備の推進を求める意見書	
		魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書	
		介護従事者の人材確保に関する意見書	
		「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	
		産後ケア体制の支援強化を求める意見書	
		奨学金制度の充実を求める意見書	
消費税10%への増税中止を求める意見書	否決		
		集団的自衛権行使容認など解釈改憲に抗議し、憲法を守り尊重することを求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

## 政策

### 知事の目指す県政

**問** 知事は、次の知事選挙への出馬表明をされたが、具体的にどのような県政を目指すのか。

**答** 知事就任以来、和歌山を元気にするため、いろいろな分野で新たな取組を進めてきました。課題はまだ山積しています。3期目の県政は、産業振興、防災対策、インフラの充実、都市の再生及び過疎地域の活性化、医療・福祉の充実及び治安の向上、学力の向上など教育の充実、紀の国わかやま国体・大会の成功など、7つの政策に取り組むことにより、県民の皆様が「明日が今日よりもよい」と思ってもらえるような和歌山を創造していきたいと思っています。

## まちづくり

### 空き家対策

**問** 県は、平成24年に都道府県初の景観支障防止条例を制定し、本年4月には周辺の景観を損ねている空き家の持ち主に撤去・改修を勧告したが、その後の経過はどうなっているのか。

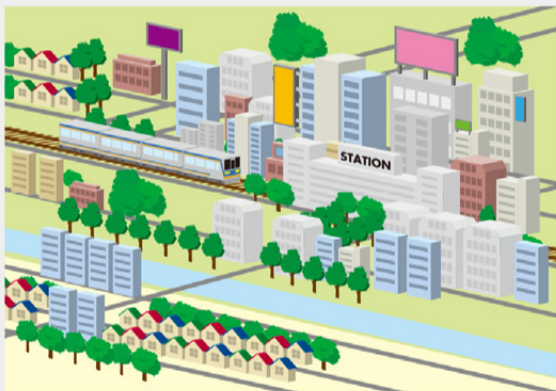
**答** 県内の1棟の空き家について、建築物を除去または周辺景観と調和した外観に改善するよう初の勧告を行い、勧告後も所有者に指導を続けています。が、現時点では除却または改善がされていません。今後、勧告に従わない場合には所要の措置を行う旨の命令も考えています。

### JR和歌山駅を中心としたコンパクトシティの形成

**問** 和歌山県・和歌山市の再生を望むのであれば、JR和歌山駅を中心にコンパクトシティを進め、南海本線をJR和歌山駅に引き込むなど、同駅に鉄道を集ませる大胆な発想が必要であると思うが、どうか。

**答** 鉄道の相互乗り入れは、利便性の向上やまち全体の活性化等に効果があり、コンパクトなまちづくりに資するものです。鉄道事業者に働きかけたところ、県と鉄道事業者の間で相互乗り入れ実現に向け

た課題を検討する勉強会を立ち上げるようになりました。経費面で克服すべき課題は多くありますが、実現に向けて積極的に取り組んでいきます。



## 観光・産業

### 「真田丸」を活用した観光振興

**問** 平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」に決定し、地元九度山町は大いに盛り上がっている。「真田丸」を活用した観光振興策の現在の取組状況、今後の計画はどうか。

**答** 大河ドラマを活用し、誘客に取り組んでいる自治体に対し、事業主体や事業内容、課題等のヒアリングと現地調査を行い、現在、事業の基本計画を策定しているところです。九度山町や高野町だけでなく、紀の川流域エリアを中心に広域的な誘客と消費の促進を図ることとしており、来年度当初から本格的な事業が実施できるよう準備を進めていきます。

### 中国へのトップセールス

**問** 先日、中国を訪問し、県の魅力をアピールしてきたが、知事のトップセールスを含めた思いや今後の取り組み、また本県の果実の輸出に対する見解はどうか。

**答** トップセールスについては、知事就任以来、みずから現地に出向き、相手国のトップクラスの要人や関係業界等にインパクトをもって本県の魅力を伝えるよう取り組んできましたが、これを一過性に終わらせないよう、県全体でアプローチを継続することが大切です。果実の輸出については、政府に対し、中国との植物検疫条件の早期合意を引き続き要望していく必要があります。